

消 防 編

第1章 消防の概要

第1表 福井県常備消防体制(平成25年4月1日現在)

嶺北消防組合

設置年月日	S44. 7. 24
消防吏員	192人
普通消防車	6台
救急車	9台

永平寺町

設置年月日	H18. 2. 13
消防吏員	36人
普通消防車	1台
救急車	3台

勝山市

設置年月日	S36. 8. 1
消防吏員	37人
普通消防車	2台
救急車	3台

福井市

設置年月日	H18. 2. 1
消防吏員	349人
普通消防車	22台
救急車	10台

大野市

設置年月日	H17. 11. 7
消防吏員	55人
普通消防車	4台
救急車	4台

鯖江・丹生消防組合

設置年月日	S44. 11. 1
消防吏員	110人
普通消防車	5台
救急車	6台

南越消防組合

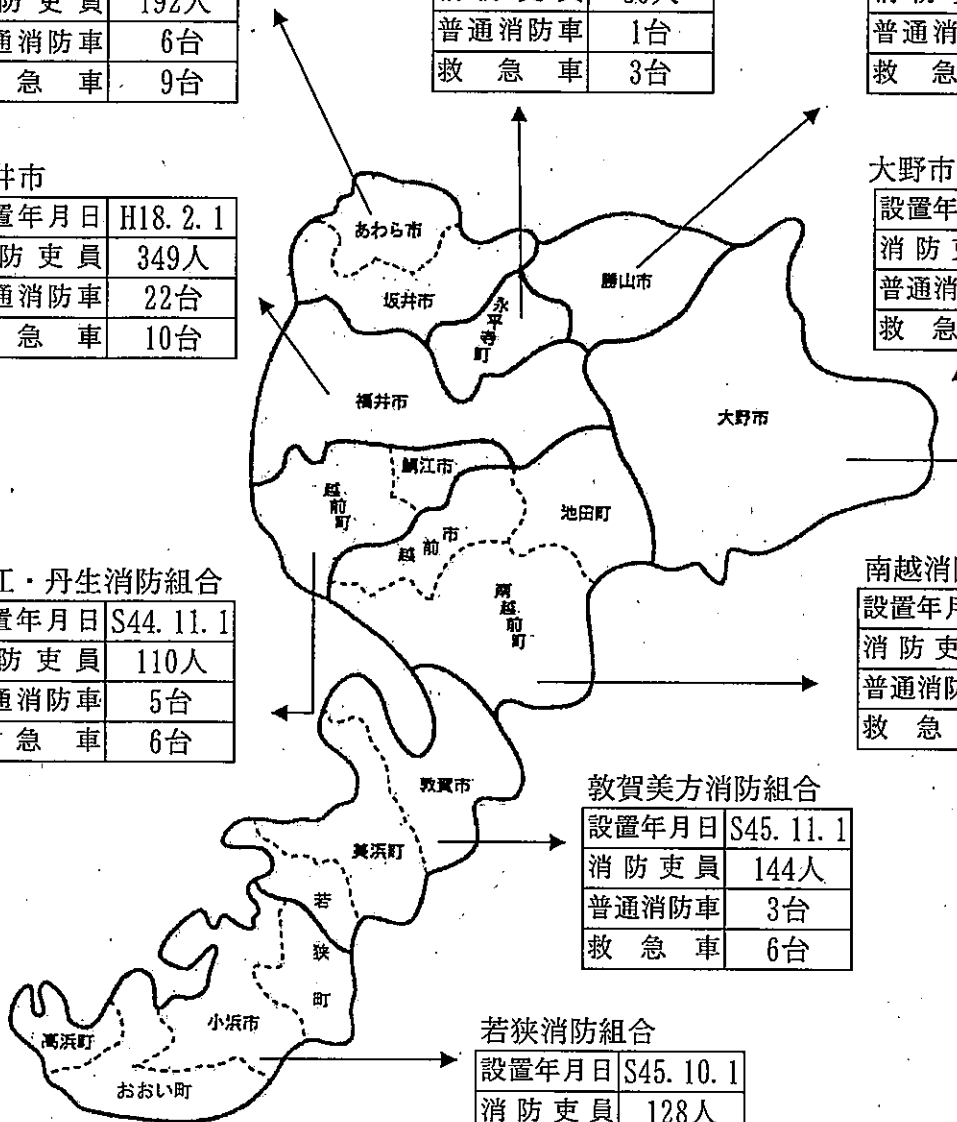
設置年月日	S45. 9. 1
消防吏員	145人
普通消防車	6台
救急車	8台

敦賀美方消防組合

設置年月日	S45. 11. 1
消防吏員	144人
普通消防車	3台
救急車	6台

若狭消防組合

設置年月日	S45. 10. 1
消防吏員	128人
普通消防車	7台
救急車	6台



※普通消防車とは、普通消防ポンプ自動車であり、台数については消防団分を含まない

第2表 消防の概況表

面積（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」H24. 10. 1現在）		4,189.88 km ²	
平成22年国勢調査（確定値）人口		806,314 人	
住民基本台帳人口（H25. 4. 1現在）		795,421 人	
住民基本台帳世帯数（H25. 4. 1現在）		276,377 世帯	
65才以上高齢者数（「福井県の高齢者人口状況 H25.4.1現在 ※「住民基本台帳」および「外国人登録原票」による市町村集計）		208,373 人	
高齢化率（ " " ）		26.2 %	
地域別人口	福井坂井地区（平成22年国勢調査 確定値）		409,332 人
	奥越地区		60,757 人
	丹南地区		190,821 人
	嶺南地区		145,404 人
2 4 年 火 災 状 況	火災件数		203 件
	うち	建物火災件数	133 件
		林野火災件数	8 件
	建物焼損面積		11,747
	林野焼損面積		29
	損害額		947,932 千円
	うち	建物火災	880,179 千円
	死者（自殺者数内数）		10(4) 人
	負傷者		39 人
出火率（人口1万人に対する出火件数）※H23年3月末住民基本台帳人口による		2.53 件	
2活 4動 年 救 急 況	救急出場件数		26,705 件
	うち	急病	16,100 件
		交通事故	2,709 件
		一般負傷	3,701 件
搬送人員		25,812 人	
消 防 本 部 ・ 署 所	消防本部	単独設置市	3
		単独設置町	1
		消防一部事務組合	5
	消防署数		20
	出張所数		30
	消防職員	消防吏員	1,189 人
		その他の職員	27 人
合計		1,216 人	
消 防 団	消防団数		18
	分団数		236
	消防団員	非常勤団員数	5,661 人
		常勤団員数	0 人
		合計	5,661 人

消 防 車 両 等	区 分		消防本部・署所	消 防 団	
	普通消防ポンプ自動車			56 台	145 台
水槽付消防ポンプ自動車			22 台	—	
はしご付消防ポンプ自動車			12 台	—	
屈折はしご付消防ポンプ自動車			1 台	—	
大型高所放水車			1 台	—	
泡原液搬送車			2 台	—	
化学消防自動車			17 台	—	
指揮車			19 台	—	
小型動力ポンプ付積載車			0 台	179 台	
小型動力ポンプ(車両に積載していないもの)			29 台	131 台	
広報車			29 台	—	
資機材搬送車			26 台	—	
屈折放水塔車			1 台	—	
救急自動車			55 台	—	
救助工作車			16 台	—	
その他の車両			35 台	—	
消 防 水 利	消火栓	公 設		17,536 個	
		私 設		98 個	
	防火水槽	100㎡以上		77 基	
		60㎡以上 100㎡未満		122 基	
		40㎡以上 60㎡未満		4,733 基	
		20㎡以上 40㎡未満		527 基	
	井戸	公 設		84 個	
私 設		—			
そ の 他				603 個	
通 信 施 設 等	消防用無線		基地局および固定局		47 局
			移動局		643 局
	防災行政無線	市町	同報無線	同報親局	22
				同報受信設備	15,672
		県	移動無線	基地局	26 局
				移動局	999 局
			固定系	地上系	30 局
				衛星系	74 局
	移動系	基地局等	31 局		
		移動局等	230 局		
テレビ監視装置				2 基	
火災報知専用電話				120 回線	
消防電話				110 回線	

第2章 火災の実態

1 概 況

平成24年中の火災発生件数は203件、死者10人、負傷者39人、損害額9億4,793万円、焼損棟数194棟、り災世帯数98世帯、り災人員250人となっており、一日当たりの損害状況は第1表のとおりで、概ね毎日260万円が灰じんに帰していることになる。

火災発生件数、損害額および死傷者数の過去10年間の推移は、第1図、第2図のとおりであり、火災発生件数においては、平成17年中が最も多く、平成23年中が最も少ない。

2 出火件数および損害額の状況

(1) 出火件数

総出火件数は203件で、これを火災種別ごとにみると、第3図のように建物火災が133件で全体の65.5%を占め、車両火災30件(14.8%)、林野火災8件(3.9%)、その他火災32件(15.8%)となっている。

また、建物火災だけでみると、第4図のように一般住宅が50件(37.6%)で最も多く、次いで工場15件(11.3%)、事務所10件(7.5%)、共同住宅7件(5.3%)、飲食店6件(4.5%)、併用住宅5件(3.8%)、倉庫5件(3.8%)、その他35件(26.3%)となっている。

第3表の月別火災発生状況表を見ると、8月の発生件数が27件で最も多く、6月が10件と最も少ない。

第4表では、市町別の火災発生状況を示している。

(2) 損害額

損害額は、9億4,793万円で、これを火災種別ごとにみると、第5図のように建物火災が8億8,017万円で全体の92.9%を占め、次いで車両火災19,38万円(2%)となっている。火災1件当たりの損害額は467万円となる。

第3表の月別火災発生状況表をみると、1月の損害額が38,593万円で最も多く、7月が516万円で最も少ない。

3 出火原因

全火災の出火原因別状況を表したのが第6図であり、出火原因別損害状況を表したのが第6表である。

第6図をみると、出火原因ではこんろが最も多く20件で9.9%を占め、次いで、電灯電話等の配線16件(7.9%)、たばこ13件(6.4%)、ストーブ13件(6.4%)、たき火11件(5.4%)、排気管10件(4.9%)、放火9件(4.4%)などとなっている。

4 火災による死者の状況

死者の死因別発生状況を表したのが第7表であり、死者の経過別、年齢別発生状況を表したのが第8表である。

第7表をみると、死因では、一酸化炭素中毒・火傷が5人、自殺が4人、1人が不明となっている。

また、平成24年中の死者に占める高齢者は7人で全体の70%となった。

第1表 1日当たりの損害状況

区 分	単 位	平成24年 (A)	平成23年 (B)	対前年増加数 (A) - (B)
出 火 件 数	件	0.56	0.52	0.04
損 害 額	万円	260	101	159
焼 損 棟 数	棟	0.53	0.48	0.05
り 災 世 帯 数	世帯	0.27	0.25	0.02
り 災 人 員	人	0.68	0.62	0.07

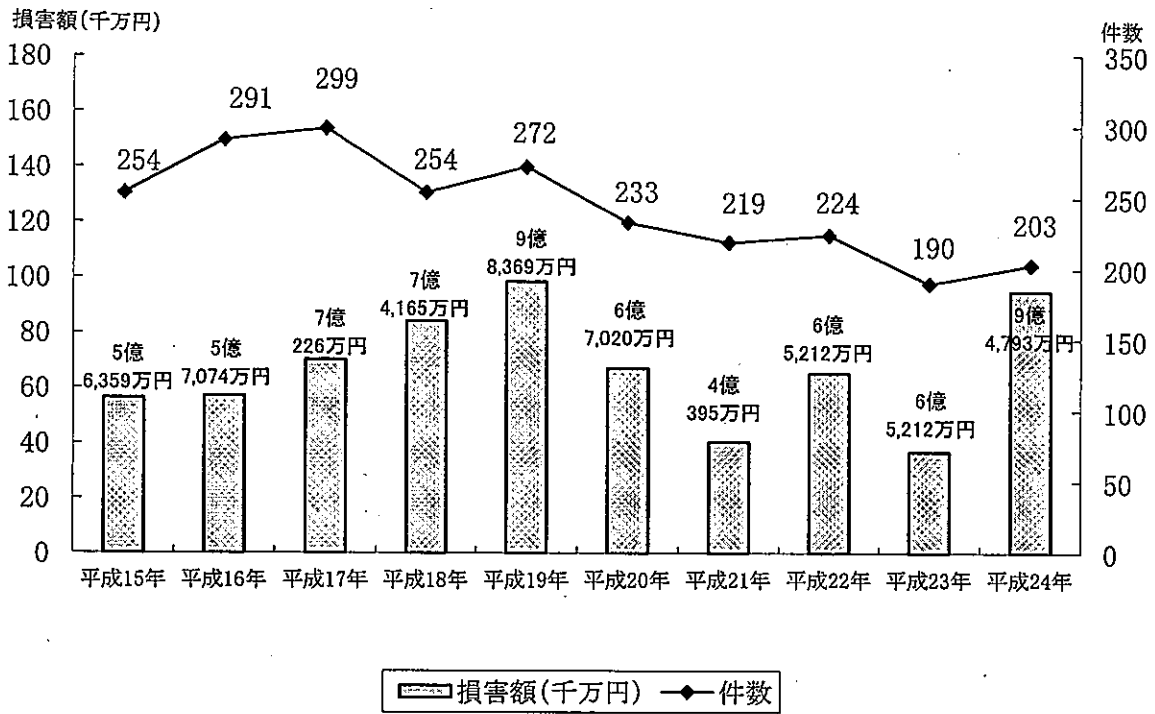
第2表 平成24年火災発生状況と前年比較表

区 分	平成24年(A)	平成23年(B)	対前年増加数 (A) - (B) = (C)	増 加 率 (C)/(B)×100(%)
総 出 火 件 数	203	190	13	6.8
建 物	133	122	11	9.0
林 野	8	3	5	166.7
車 両	30	29	1	3.4
船 舶	0	1	△ 1	-
そ の 他	32	35	△ 3	△ 8.6
焼 損 棟 数(棟)	194	176	18	10.2
全 焼	48	48	0	0.0
半 焼	12	6	6	100.0
部 分 焼	53	44	9	20.5
ぼ や	81	78	3	3.8
り 災 世 帯 数(世帯)	98	92	6	6.5
全 損	24	28	△ 4	△ 14.3
半 損	11	4	7	175.0
小 損	63	60	3	5.0
り 災 人 員(人)	250	225	25	11.1
建物焼損面積(m ²)	11,735	6,528	5,207	79.8
林野焼損面積(a)	29	110	△ 81	△ 73.6
損 害 額 合 計(千円)	947,932	367,966	579,966	157.6
建 物	880,179	348,959	531,220	152.2
林 野	494	305	189	62.0
車 両	19,389	12,552	6,837	54.5
船 舶	0	300	△ 300	-
そ の 他	47,387	2,947	44,440	1,508.0
爆 発	483	2,903	△ 2,420	500.0
死 者(人)	10	12	△ 2	△ 16.7
()は放火自殺者内数	(4)	(3)	1	(33.3)
建 物	6 (0)	9 (2)	△ 3 (△ 2)	△ 33.3 -
林 野	0	0	0	-
車 両	4 (4)	2 (1)	2 3	- -
船 舶	0	0	0	-
そ の 他	0 (0)	1 (0)	△ 1 0	△ 100.0 #DIV/0!
負 傷 者(人)	39	39	0	0.0
建 物	30	30	0	0.0
林 野	0	0	0	-
車 両	4	5	△ 1	△ 20.0
船 舶	0	0	0	-
そ の 他	5	4	1	25.0
出 火 率 (人口1万人に対する出火件数)	2.53	2.36		

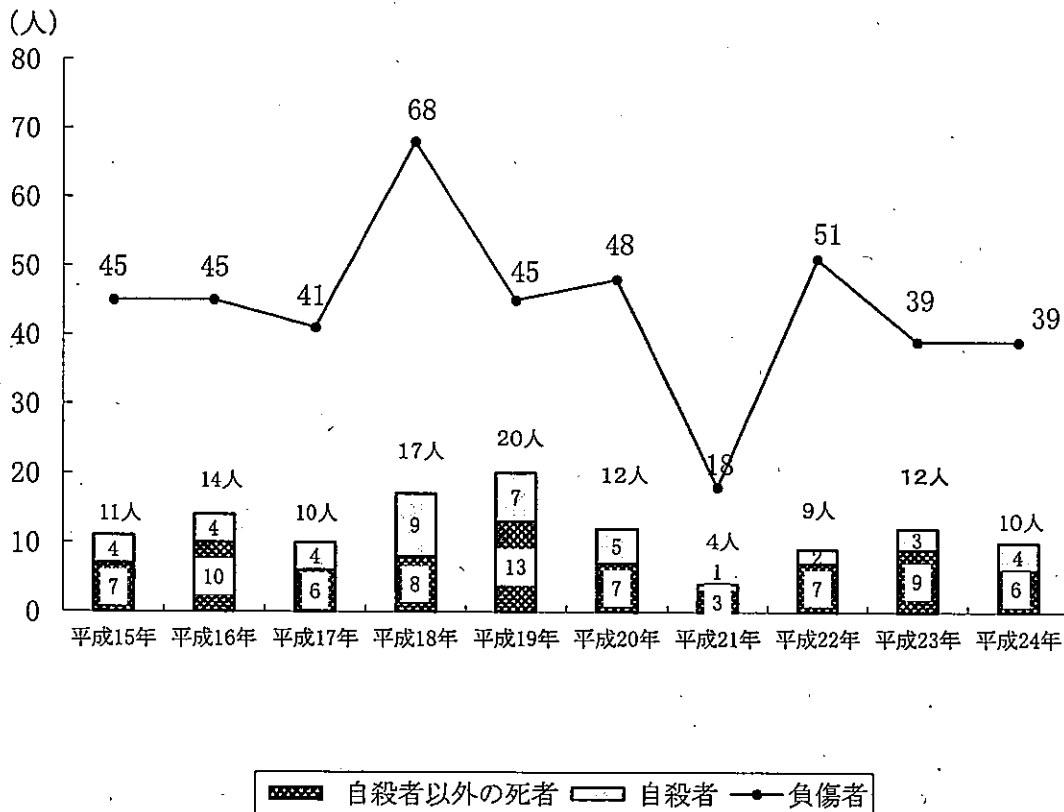
平成24年人口:平成24年3月31日現在の住民基本台帳による。

平成23年人口:平成23年3月31日現在の住民基本台帳による。

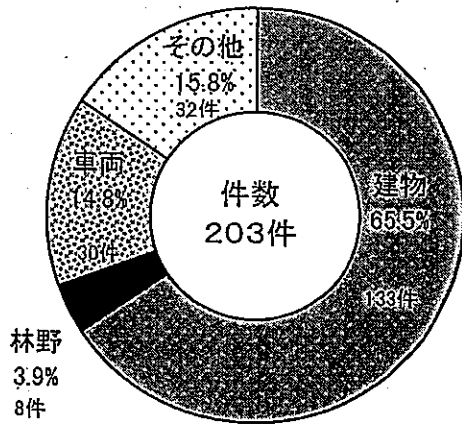
第1図 過去10年間の出火件数と損害額の推移



第2図 過去10年間の死傷者数の推移

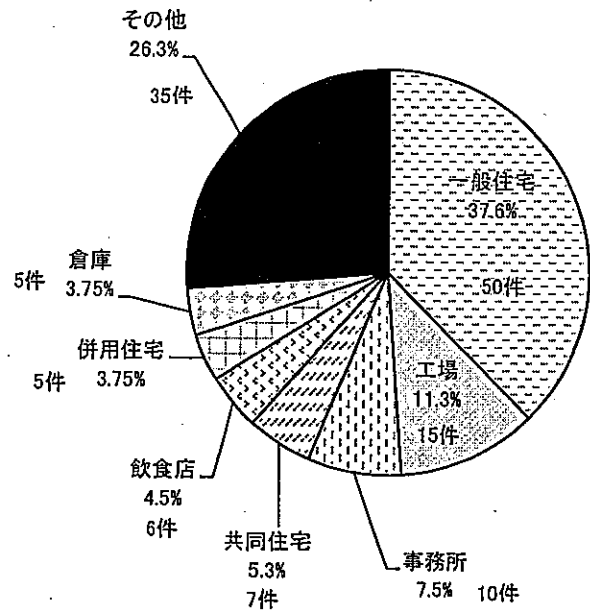


第3図 火災発生件数の内訳



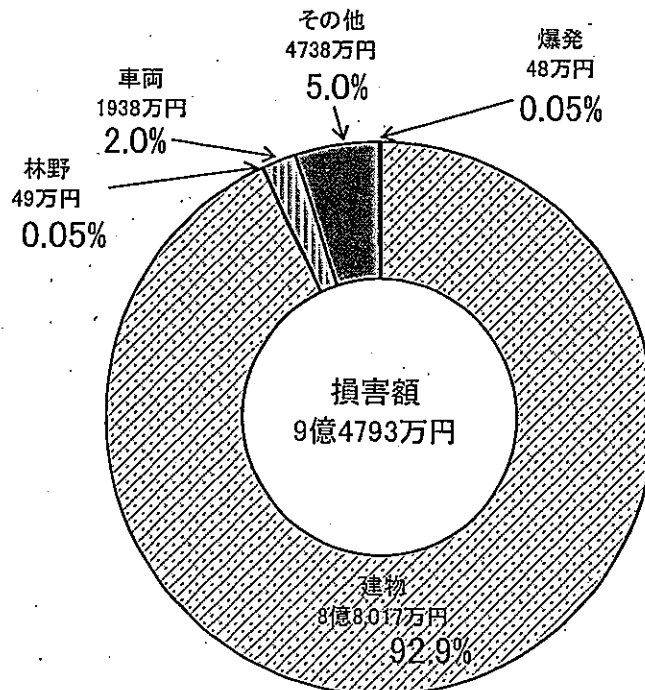
▣建物 ■林野 ▨車両 □その他

第4図 うち建物火災件数の内訳



□一般住宅 □工場 □事務所 □共同住宅
□飲食店 □併用住宅 □倉庫 ■その他

第5図 損害額の内訳



▣建物 ■林野 ▨車両 □その他 ▩爆発

第3表 平成24年月別火災発生状況表

月	出火件数(件)						焼損棟数(棟)				焼損面積		り災世帯数(世帯)			り災人員(人)	死(人) 内は放火自殺者(人)	負傷者(人)	損害額(千円)								
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物(m ²)	林野(a)	合計	全				半	小	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	爆発
1	17	15	0	1	0	1	30	8	2	5	15	3,346	0	18	4	1	13	53	2(0)	8	385,936	383,182	0	178	0	2,576	0
2	13	11	0	1	0	1	13	2	3	1	7	493	0	10	3	4	3	21	1(0)	2	30,570	28,830	0	1,734	0	6	0
3	17	10	0	3	0	4	12	4	1	2	5	377	0	6	2	3	1	17	0(0)	5	45,288	43,836	0	773	0	196	483
4	20	8	1	3	0	8	12	5	0	4	3	318	0	7	1	0	6	26	0(0)	4	12,818	11,530	0	35	0	1,253	0
5	15	11	1	1	0	2	14	3	2	5	4	654	2	7	2	1	4	7	0(0)	4	31,757	30,801	44	908	0	4	0
6	10	7	0	2	0	1	9	1	0	5	3	145	0	5	1	0	4	15	2(2)	3	23,459	23,269	0	190	0	0	0
7	13	7	0	3	0	3	7	2	0	1	4	87	0	1	0	0	1	3	1(1)	0	5,160	2,529	0	2,631	0	0	0
8	27	13	5	6	0	3	20	4	0	9	7	749	25	9	2	0	7	35	1(1)	3	91,885	89,723	360	1,752	0	50	0
9	20	14	1	2	0	3	26	10	3	5	8	3,678	2	9	3	1	5	29	0(0)	1	139,280	132,728	90	5,470	0	992	0
10	17	12	0	3	0	2	14	3	0	2	9	607	0	6	1	0	5	16	0(0)	0	72,780	27,290	0	3,219	0	42,271	0
11	12	6	0	2	0	4	7	1	0	1	5	120	0	2	0	0	2	3	0(0)	7	16,416	16,034	0	343	0	39	0
12	22	19	0	3	0	0	30	5	1	13	11	1,161	0	18	5	1	12	25	3(0)	2	92,583	90,427	0	2,156	0	0	0
計	203	133	8	30	0	32	194	48	12	53	81	11,735	29	98	24	11	63	250	10(4)	39	947,932	880,179	494	19,389	0	47,387	483

第4表 市町別火災状況

区分	出火件数(件)							焼損棟数(棟)				り災世帯数(世帯)			り災人員(人)		
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損		半損	小損
福井市	67	48	1	6	0	0	12	57	7	4	20	26	38	5	3	30	88
敦賀市	8	7	0	1	0	0	0	8	1	2	2	3	4	1	2	1	10
小浜市	9	6	1	1	0	0	1	6	1	0	2	3	2	0	0	2	2
大野市	9	8	0	0	0	0	1	11	5	2	2	2	5	2	1	2	22
勝山市	8	6	0	1	0	0	1	6	4	0	0	2	0	0	0	0	0
鯖江市	17	14	1	1	0	0	1	31	10	1	5	15	21	7	2	12	52
あわら市	8	5	0	2	0	0	1	7	2	0	3	2	3	1	2	0	8
越前市	22	14	2	4	0	0	2	20	3	2	6	9	9	3	1	5	16
坂井市	15	7	0	7	0	0	1	22	9	1	4	8	9	3	0	6	27
市計	163	115	5	23	0	0	20	168	42	12	44	70	91	22	11	58	225
永平寺町	6	2	0	3	0	0	1	4	0	0	2	2	1	0	0	1	1
池田町	1	1	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0
南越前町	5	1	0	2	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
越前町	11	5	3	0	0	0	3	9	1	0	3	5	3	1	0	2	16
美浜町	4	2	0	0	0	0	2	2	0	0	2	0	1	0	0	1	3
高浜町	4	3	0	0	0	0	1	3	1	0	0	2	0	0	0	0	0
おおい町	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
若狭町	7	4	0	2	0	0	1	5	2	0	1	2	2	1	0	1	5
(内訳)																	
旧三方町 敦賀美方消防管轄	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旧上中町 若狭消防管轄	6	4	0	1	0	0	1	5	2	0	1	2	2	1	0	1	5
町計	40	18	3	7	0	0	12	26	6	0	9	11	7	2	0	5	25
県計	203	133	8	30	0	0	32	194	48	12	53	81	98	24	11	63	250

若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載した。

期間：平成24年1月1日～12月31日

死傷者数(人)		焼 損 面 積			損 害 額(千円)						
死 者	負 傷 者	建 物 床 (m ²)	建 物 表 (m ²)	林 野 (a)	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	爆 発
2	22	1,866	98	8	169,223	163,160	8	5,387	0	185	483
0	0	140	7	0	4,217	4,217	0	0	0	0	0
0	2	362	0	0	22,292	20,901	0	140	0	1,251	0
0	1	829	8	0	18,325	18,199	0	87	0	39	0
0	1	114	0	0	5,710	3,970	0	1,734	0	6	0
1	2	1,175	27	8	106,646	64,037	188	5	0	42,416	0
0	0	234	20	0	20,871	19,639	0	1,086	0	146	0
2	6	498	85	9	58,047	54,083	193	3,720	0	51	0
1	4	5,995	51	0	494,867	487,814	0	6,214	0	839	0
6	38	11,213	296	25	900,198	836,020	389	18,373	0	44,933	483
1	0	4	0	0	685	594	0	91	0	0	0
0	0	82	36	0	2,033	2,033	0	0	0	0	0
1	0	39	0	0	851	144	0	705	0	2	0
0	0	166	24	4	18,624	16,079	105	0	0	2,440	0
0	0	0	2	0	10	10	0	0	0	0	0
0	1	12	1	0	17	17	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	12	0
2	0	219	1	0	25,502	25,282	0	220	0	0	0
2	0	0	0	0	50	0	0	50	0	0	0
0	0	219	1	0	25,452	25,282	0	170	0	0	0
4	1	522	64	4	47,734	44,159	105	1,016	0	2,454	0
10	39	11,735	360	29	947,932	880,179	494	19,389	0	47,387	483

第5表 市町別月別火災発生件数、損害額および出火率

区 分	総計		1月		2月		3月		4月		5月		6月	
	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)
福井市	67	169,223	7	10,678	2	13	5	5,252	5	7,910	6	22,274	4	18,680
敦賀市	8	4,217	0	0	1	3,261	0	0	0	0	2	697	0	0
小浜市	9	22,292	0	0	0	0	0	0	2	1,251	1	1	1	140
大野市	9	18,325	1	736	1	3,133	0	0	1	0	0	0	1	35
勝山市	8	5,710	0	0	2	1,740	0	0	2	62	1	3,089	0	0
鯖江市	17	106,646	2	7,016	3	14,959	0	0	3	3,563	1	4,210	0	0
あわら市	8	20,871	1	178	0	0	2	6,991	0	0	2	1,442	1	4,281
越前市	22	58,047	1	7	3	7,445	3	25,353	1	0	1	0	1	19
坂井市	15	494,867	3	364,872	0	0	1	6,779	1	29	0	0	0	0
市 計	163	900,198	15	383,487	12	30,551	11	44,375	15	12,815	14	31,713	8	23,155
永平寺町	6	685	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	254
池田町	1	2,033	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南越前町	5	851	0	0	0	0	2	639	2	2	0	0	0	0
越前町	11	18,624	1	2,440	1	19	2	104	0	0	1	44	0	0
美浜町	4	10	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高浜町	4	17	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
おおい町	2	12	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
若狭町 (内訳)	7	25,502	0	0	0	0	1	170	1	0	0	0	1	50
旧三方町 <small>敦賀消防管轄</small>	1	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	50
旧上中町 <small>若狭消防管轄</small>	6	25,452	0	0	0	0	1	170	1	0	0	0	0	0
町 計	40	47,734	2	2,449	1	19	6	913	5	3	1	44	2	304
県 計	203	947,932	17	385,936	13	30,570	17	45,288	20	12,818	15	31,757	10	23,459

若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載した。

出火率(人口1万人に対する出火件数)は、平成24年3月31日現在の住民基本台帳人口により算定

期間:平成24年1月1日～12月31日

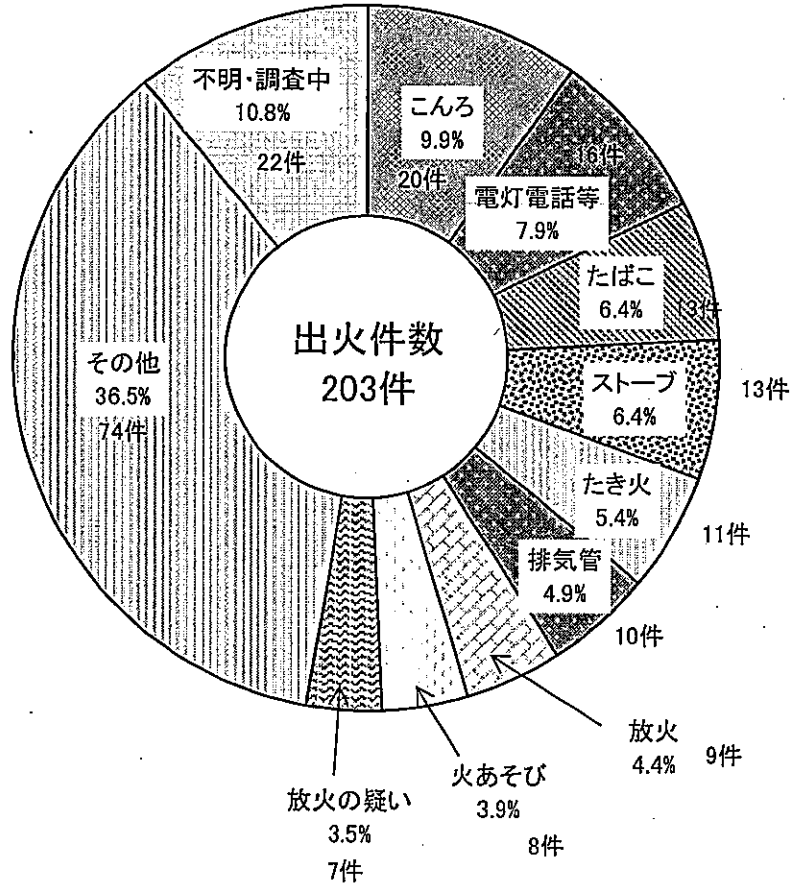
7月		8月		9月		10月		11月		12月		出火率 (人口 1万人に 対する 出火件数)
件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	
3	11	7	54,963	2	325	7	18,765	7	15,762	12	14,590	2.53
1	15	2	82	1	1	0	0	0	0	1	161	1.18
0	0	1	16,903	0	0	1	7	1	15	2	3,975	2.89
1	1,692	1	312	1	6,800	1	5,561	1	56	0	0	2.50
1	774	0	0	2	45	0	0	0	0	0	0	3.12
0	0	2	1,188	2	1,000	1	42,230	0	0	3	32,480	2.50
0	0	0	0	1	7,916	0	0	0	0	1	63	2.67
3	2,413	3	1,245	2	438	1	27	1	243	2	20,857	2.68
1	175	4	975	3	101,451	1	129	0	0	1	20,457	1.61
10	5,080	20	75,668	14	117,976	12	66,719	10	16,076	22	92,583	2.33
1	80	1	0	1	10	0	0	1	340	0	0	3.07
0	0	0	0	1	2,033	0	0	0	0	0	0	3.18
0	0	1	210	0	0	1	0	0	0	0	0	4.27
0	0	4	16,006	1	0	1	11	0	0	0	0	4.65
2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.81
0	0	0	0	1	17	1	0	1	0	0	0	3.65
0	0	0	0	0	0	1	12	0	0	0	0	2.29
0	0	0	0	2	19,244	2	6,038	0	0	0	0	4.32
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	2	19,244	2	6,038	0	0	0	0	
3	80	7	16,217	6	21,304	6	6,061	2	340	0	0	3.83
13	5,160	27	91,885	20	139,280	18	72,780	12	16,416	22	92,583	2.53

第6表 全火災の出火原因別損害状況表

期間:平成24年1月1日～12月31日

出火原因	出火件数(件)	焼損床面積(m ²)	焼損棟数(棟)	り災世帯数(世帯)	損害額(千円)
こ ん ろ	20	76	19	12	4,834
電 灯 電 話 等	16	1,257	17	11	68,777
た ば こ	13	450	14	9	36,431
ス ト ー プ	13	2,660	23	17	346,056
た き 火	11	15	3	0	601
排 気 管	10	0	0	0	5,538
放 火	9	510	7	3	22,286
火 あ そ び	8	140	9	2	11,466
放 火 の 疑 い	7	168	6	4	14,106
そ の 他	74	4,625	63	26	333,176
不 明 ・ 調 査 中	22	1,834	33	14	104,661
合 計	203	11,735	194	98	947,932

第6図 全火災の出火原因別状況



第7表 死者の死因別発生状況表

火災種別	死因 一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	自殺	その他	不明	合計(人)
建 物 火 災	3	2	0	0	1	6
林 野 火 災	0	0	0	0	0	0
車 両 火 災	0	0	4	0	0	4
そ の 他 火 災	0	0	0	0	0	0
合 計 (人)	3	2	4	0	1	10

第8表 死者の経過別・年齢別発生状況表

経過別	年齢別(歳)												合計(人)
	0～ 5	6～ 10	11 ～ 20	21 ～ 30	31 ～ 40	41 ～ 50	51 ～ 60	61 ～ 64	65 ～ 70	71 ～ 80	81～	不明	
熟睡等により 発見遅れる										1			1
身体不自由等により ほとんど避難できず				1			1					1 (1)	3
延焼拡大早期により 避難できず													0
逃げれば逃げられ たが機会を失する													0
避難行動を起こし たが逃げ切れず													0
出火後再進入													0
着衣着火													0
殺人・自殺						1			3				4
その他													0
不明・調査中										1 (1)	1 (1)		2 (2)
合計(人)	0	0	0	1	0	1	1	0	3	2 (1)	2 (2)	0	10 (2)

※()内は一人暮らし高齢者数で内数

第3章 救急業務の実態

1 救急体制

災害により生じた事故もしくは屋外および公衆の出入りする場所、または屋内において生じた事故で、迅速に搬送する手段がない場合に傷病者を医療機関等へ搬送する業務が救急業務であるが、平成25年4月1日現在、第1表のとおり、救急自動車55台(うち高規格救急自動車50台)、救急隊員528名(うち救急救命士192名)で救急業務にあたっている。

2 救急医療体制

救急隊が搬送する傷病者を受け入れる救急告示医療機関数は、平成25年4月1日現在、第2表のとおり61施設である。

3 救急活動状況

救急活動状況を表したのが第3表であり、救急出場件数は26,705件、搬送人員は25,812人となっている。県内1日あたりの出場件数は約73件となり、約20分に1回の割合で救急隊が出場したことになる。

過去10年間の出場件数および搬送人員の推移を表したのが第1図であり、出場件数、搬送人員ともにほぼ毎年増加している。

出場件数、搬送人員の事故種別内訳を表したのが第2図、第3図であり、出場件数の事故種別内訳では、急病が16,100件で、全体の60.3%を占め、次いで一般負傷3,901件(14.6%)、交通事故2,709件(10.1%)などとなっている。搬送人員では急病が15,173人で全体の58.8%を占め、次いで一般負傷3,738人(14.5%)、交通事故3,198人(12.4%)などとなっている。

第1表 救急体制状況表

平成25年4月1日現在

消防(局)本部名	救急自動車			救急隊員					
	高規格救急車	通常型	合計	専任		兼任		合計	
				救急救命士		救急救命士		救急救命士	
福井市	9	1	10	45	20	27	10	72	30
大野市	4	0	4			44	16	44	16
勝山市	2	1	3			27	8	27	8
永平寺町	3	0	3			31	8	31	8
嶺北消防組合	8	1	9			87	29	87	29
鯖江・丹生消防組合	6	0	6			105	29	105	29
南越消防組合	7	1	8	4	4	69	19	73	23
敦賀美方消防組合	6	0	6	28	24	8		36	24
若狭消防組合	5	1	6	8	6	45	19	53	25
合計	50	5	55	85	54	443	138	528	192

第2表 医療機関状況表

平成25年4月1日現在

種別	告示別	国・公立	公的	私的		合計
				病院	診療所	
	救急告示医療機関	8	4	30	19	61
	その他の医療機関	28	2	24	749	803
	合計	36	6	54	768	864

第3表 救急活動状況

(平成24年中)

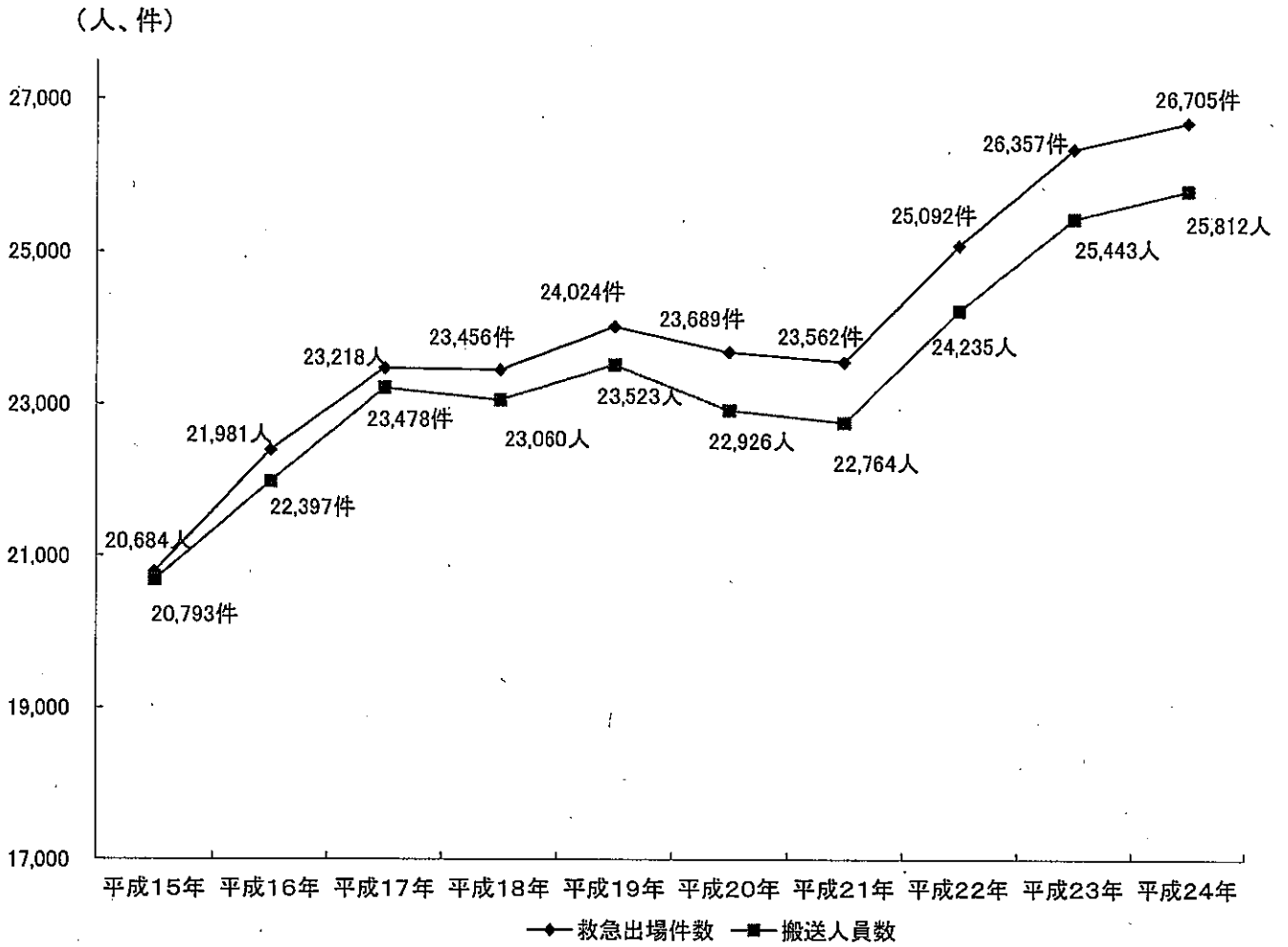
	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自行損傷	急病	その他
救急出場件数	26,705	91	5	58	2,709	260	210	3,901	97	256	16,100	3,018
搬送人員	25,812	37	5	40	3,198	258	220	3,738	85	159	15,173	2,899

第4表 高速自動車道における救急活動状況表

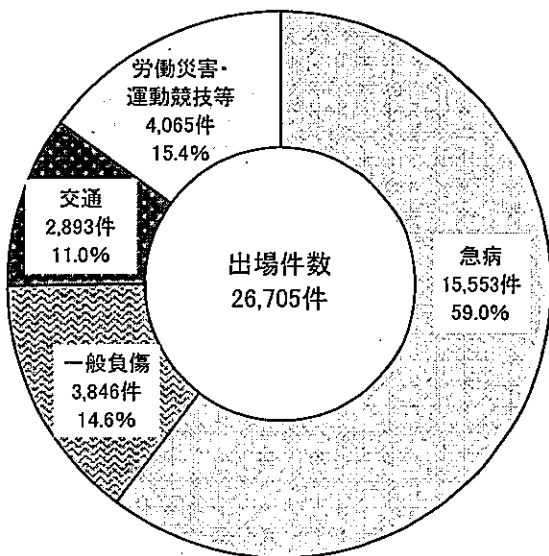
(平成24年中)

高速道路名	北陸自動車道										舞鶴若狭自動車道	計
	嶺北消防組合消防本部		福井市消防局		鯖江・丹生消防組合消防本部		南越消防組合消防本部		敦賀美方消防組合消防本部			
I C 名	金津	丸岡	福井北	福井	鯖江	武生	今庄	敦賀			大飯高浜	
救急出動件数	3	7	2	3	6	17	22	11			10	81
搬送人員	3	7	2	4	6	18	23	16			8	87

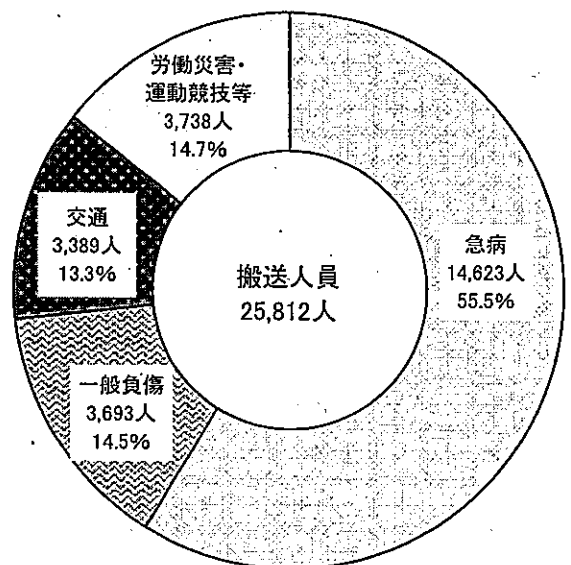
第1図 過去10年間の救急活動の推移



第2図 出場件数の事故種別内訳



第3図 搬送人員の事故種別内訳



第4章 予 防 行 政 の 概 況

1 防火対象物定期点検報告制度

不特定多数の人が出入りするなど一定の防火対象物について、所有者や賃借人等のうち管理について権原を有する人が、火災予防のために資格者による定期点検を行い、その結果を消防機関へ報告する制度である。

この制度による平成24年4月1日から平成25年3月31日までの状況は第1表のとおりである。

第1表 防火対象物定期点検報告制度実施状況表

防火対象物の区分			点検を要する 防火対象物数		点検報告済 防火対象物数		特例認定済 防火対象物数	
			第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当
1	イ	劇場、映画館、演芸場または観覧場	31	0	11	0	10	0
	ロ	公会堂または集会場	224	0	96	0	68	0
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの	0	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場またはダンスホール	57	0	42	0	4	0
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等	0	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス等	2	0	1	0	0	0
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	1	8	1	3	0	0
	ロ	飲食店	12	43	5	16	1	0
4		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗または展示場	172	21	82	6	23	1
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	43	87	15	34	20	25
6	イ	病院、診療所または助産所	36	8	16	2	13	4
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、精神障害者社会復帰施設等	6	3	2	3	4	0
	ハ	老人デイサービスセンター、老人福祉センター、精神障害者社会復帰施設（軽微）等	1	3	0	2	1	0
	ニ	幼稚園または特別支援学校	1	0	1	0	0	0
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場	3	0	0	0	2	0
16	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が上記に該当する用途に供されているもの	206	54	99	8	46	3
16の2		地下街	0	0	0	0	0	0
合 計			795	227	371	74	192	33

【備考】

- ・点検報告済防火対象物とは、1年に1回、防火対象物点検資格者による点検報告が必要なもので、点検の結果、点検基準に適合していると認められた防火対象物。「防火基準点検済証」を表示することができる。
- ・特例認定済防火対象物とは、一定の要件を満たしているもので、申請によって点検報告の義務が3年間免除される防火対象物。「防火優良認定証」を表示することができる。
- ・第1号該当とは、収容人員が300人以上の防火対象物
- ・第2号該当とは、収容人員が30人以上300人未満の防火対象物で次の要件に該当する防火対象物
 - 特定用途部分が地階または3階以上に存するもの（避難階は除く）
 - 階段が2以上設けられていないもの
- ・調査基準日…平成25年3月31日
防火対象物の区分については、消防法施行令別表第1は改正されているが（平成19年6月13日公布・平成21年4月1日施行）、調査基準日現在の内容で記載している。
- ・調査期間……平成24年4月1日～平成25年3月31日

2 消防設備士試験・講習の状況

消防設備士は、甲種・乙種合わせて802人の受験者に対して333人が合格し、合格率は

41.5%であった。その状況は第2表のとおりである。

また、免状所有者に対する義務講習は610人が受講した。その状況は第3表のとおりである。

第2表 消防設備士試験実施状況表

試験日：平成24年8月19日（日）

平成25年2月19日（日）

区 分	平成24年度								免状交付延べ数	
	受験者数（人）		合格人数（人）		合格率（%）		免状交付数			
	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種
特 類	10		1		10.0%		1		11	
第 1 類	87	24	16	5	18.4%	20.8%	15	5	1,121	286
第 2 類	14	5	7	4	50.0%	80.0%	7	4	309	85
第 3 類	25	6	7	3	28.0%	50.0%	7	3	219	57
第 4 類	177	86	46	38	26.0%	44.2%	45	37	2,496	906
第 5 類	33	10	3	2	9.1%	20.0%	3	2	255	99
第 6 類		148		79		53.4%		75		1,836
第 7 類		177		122		68.9%		120		2,713
計	346	456	80	253	23.1%	55.5%	78	246	4,411	5,982

第3表 消防設備士義務講習実施状況表

区 分	受 講 対 象 者 区 分	受講者数（人）	実 施 年 月 日
消 火 設 備	(甲・乙)第1類,第2類,第3類 消防設備士	115	平成24年10月18日
避難設備・消火器	(甲・乙)第5類,(乙)第6類 消防設備士	155	平成24年10月19日
警 報 設 備	(甲・乙)第4類,(乙)第7類 消防設備士	340	平成24年10月23日、24日
合 計		610	

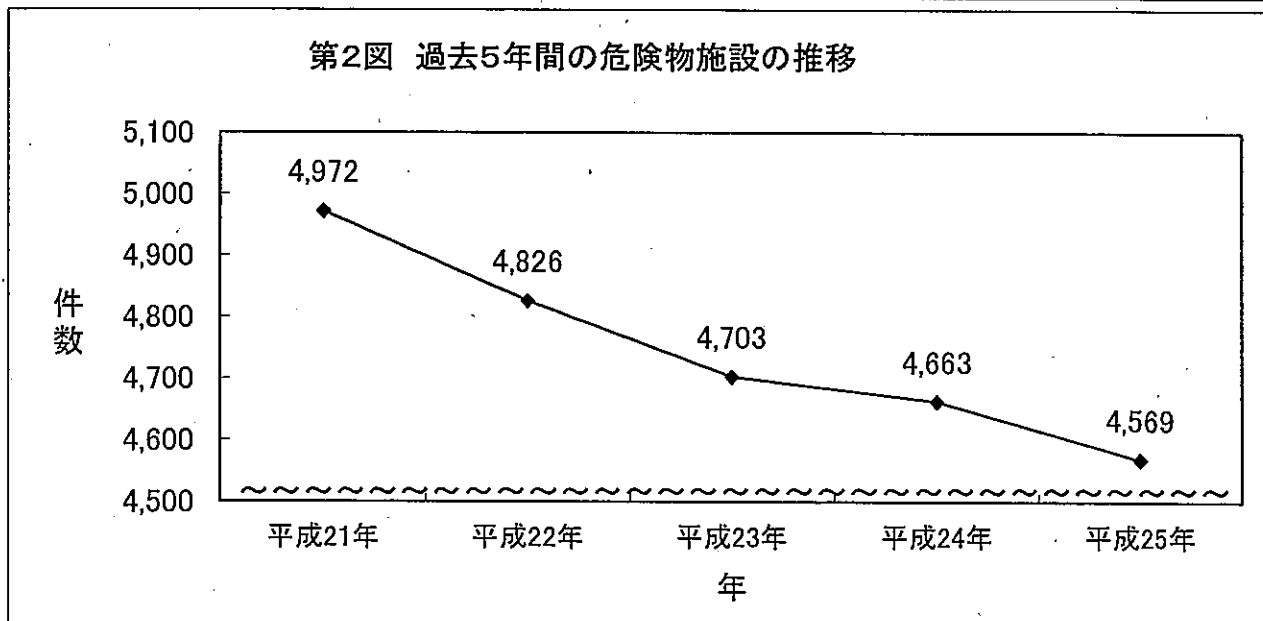
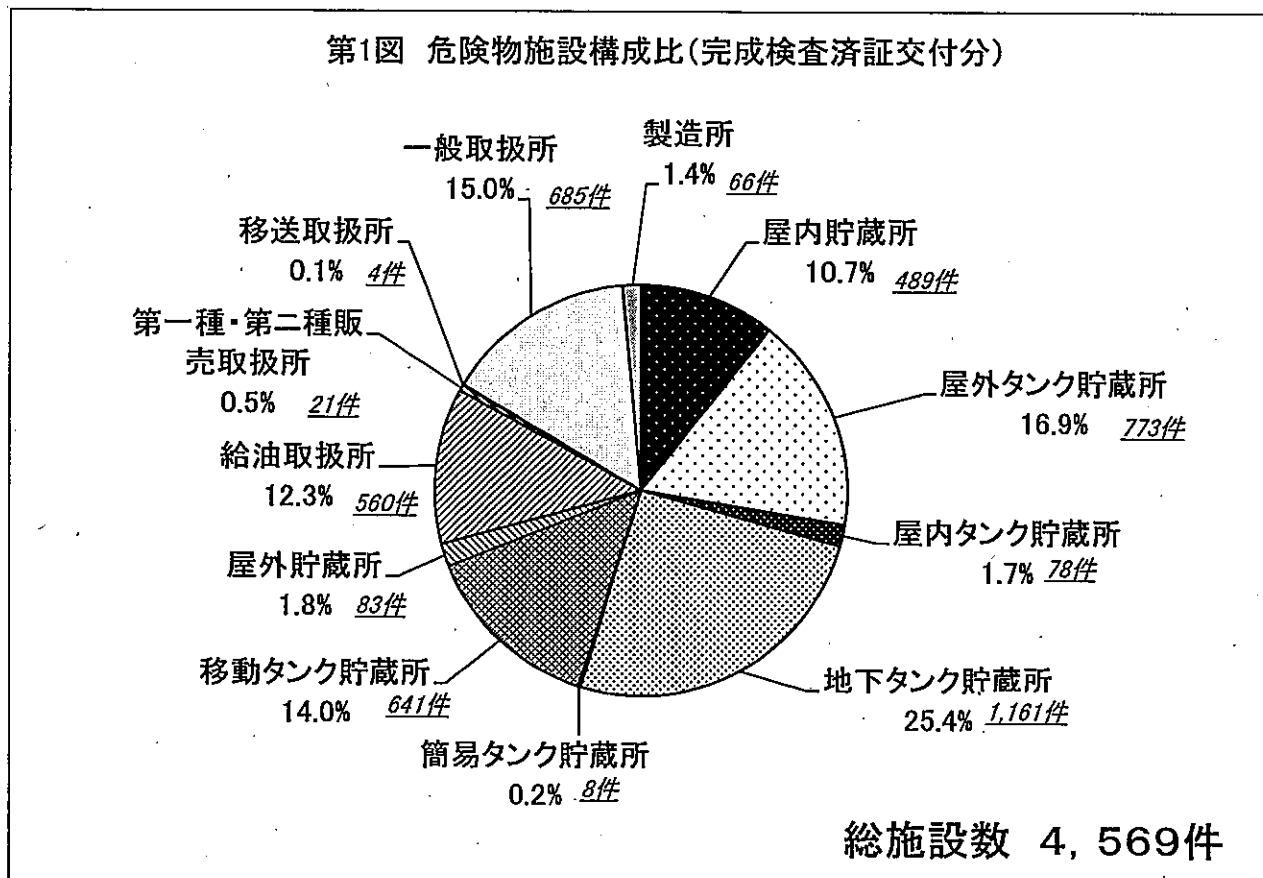
第5章 危険物規制

1 概況

(1) 危険物規制は、福井市、大野市、勝山市および永平寺町においては当該市町が、またその他の市町においてはそれぞれの加入する消防組合において行なわれている。

なお、県内の総施設数は第1図のとおりである。(平成25年3月31日現在)

(2) 危険物の総施設数の推移は第2図のとおり減少傾向であり、前年に対し94件減少している。



第1表 施設別危険物施設数

平成25年3月31日現在

危険物施設の別 消防(局)本部名	製造所 (A)	貯蔵所										取扱所						合計 (A+B+C)	事業所
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所		屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計 (B)	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	小計 (C)			
			準特定屋外タンク貯蔵所	特定屋外タンク貯蔵所															
福井市	17	116	194	5	20	30	307	1	185	20	853	144	11	1	1	146	303	1,173	612
大野市		10	21				69			36	136	28				32	60	196	117
勝山市	2	5	31			1	54		20	3	114	17				21	38	154	88
永平寺町		8	6			2	25		15		56	9				15	24	80	48
嶺北消防組合	26	95	174	4	36	13	216	1	142	19	660	94			2	184	280	966	351
鯖江・丹生消防組合	5	61	79	1		7	134		45	9	335	51	4	4		61	120	460	310
南越消防組合	13	72	112			10	144	2	68	17	425	68				72	140	578	280
敦賀美方消防組合	1	67	109	8	8	12	129		77	12	406	94			1	89	184	591	230
若狭消防組合	2	55	47			3	83	4	53	3	248	55	1			65	121	371	159
合計	66	489	773	18	64	78	1,161	8	641	83	3,233	560	16	5	4	685	1,270	4,569	2,195

- 注：1 貯蔵所および取扱所の区分は危険物の規制に関する政令の区分による（以下の表においても同様）。
 2 本表には、設置を許可した施設のうち、完成検査済証を交付した施設数から廃止届を受理した施設数を除いた数を記載（以下の表においても同様）。
 3 準特定屋外タンク貯蔵所には、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が五百キリットル以上千キリットル未満のものを記載（以下の表においても同様）。
 4 特定屋外タンク貯蔵所数は、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が千キリットル以上のものを記載（以下の表においても同様）。
 5 事業所数は、危険物施設を有する事業所の数を記載。

第2表 指定数量別・類別危険物施設数

平成25年3月31日現在

危険物施設の別 数量別・類別	製 造 所 (A)	貯 蔵 所										取 扱 所					合 計 (A+B+C)		
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	準 特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所		小 計 (C)	
5倍以下	5	218	147			53	660	7	443	25	1,553	36	14			316	366	1,924	
5倍を超えて10倍以下	6	124	124			21	260	1	20	29	579	57	2			163	222	807	
10 " 50 "	32	88	258			4	188		35	25	598	142		5		128	275	905	
50 " 100 "	8	17	81				30		137	3	268	85				32	117	393	
100 " 150 "	3	25	34				12		5		76	62				15	77	156	
150 " 200 "		6	8	1	3		5			1	20	73				13	86	106	
200 " 1,000 "	12	9	55	13	3		6		1		71	105			1	11	117	200	
1,000 " 5,000 "		2	23	4	17						25					3	3	28	
5,000 " 10,000 "			4		2						4					2	2	6	
10,000倍を超えるもの			39		39						39				3	2	5	44	
合 計	66	489	773	18	64	78	1,161	8	641	83	3,233	560	16	5	4	685	1,270	4,569	
単 独	第 1 類		12								12						0	12	
	第 2 類	1	4								4					2	2	7	
	第 3 類		2								2					3	3	5	
	第 4 類	47	424	769	18	64	78	1,161	8	641	82	3,163	560	16	5	4	660	1,245	4,455
	第 5 類		21	2							23							0	23
	第 6 類			2								2						0	2
混 在	18	26								1	27					20	20	65	
合 計	66	489	773	18	64	78	1,161	8	641	83	3,233	560	16	5	4	685	1,270	4,569	

注：1 数量別の欄は、危険物施設で貯蔵または取り扱う危険物の最大数量（許可数量）を指定数量の倍数によって表したものである。
 2 類別の欄の単独には、類を同じくする危険物のみを貯蔵または取り扱っている危険物施設の数を、混在には、類を異にする危険物を貯蔵または取り扱っている危険物施設の数を記載。

第3表 危険物施設に対する立入検査状況

平成24年 4月 1日から
平成25年 3月31日まで

危険物施設の別 消防(局)本部名		製 造 所 (A)	貯 蔵 所							取 扱 所					合 計 (A+B+C)		
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所		一 般 取 扱 所	小 計 (C)
福 井 市	検査施設数	12	46	97	14	178		184	10	529	105			1	87	193	734
	延回数	13	52	104	20	242		194	10	622	138			1	122	261	896
大 野 市	検査施設数		2	6		17		33		58	12				10	22	80
	延回数		2	6		17		34		59	12				10	22	81
勝 山 市	検査施設数	2	2	5	1	30		19	1	58	10				4	14	74
	延回数	2	2	5	2	30		19	1	59	10				4	14	75
永 平 寺 町	検査施設数		8	6	2	25		17		58	9				16	25	83
	延回数		8	6	2	25		17		58	9				16	25	83
嶺北消防組合	検査施設数	21	63	137	6	167	1	143	15	532	89			2	140	231	784
	延回数	21	63	137	6	167	1	143	15	532	90			2	140	232	785
鯖江・丹生消防組合	検査施設数	1	6	17		23		46		92	7				13	20	113
	延回数	1	6	17		23		46		92	7				13	20	113
南越消防組合	検査施設数	6	2	11	2	31		61	4	111	37				28	65	182
	延回数	13	4	15	2	31		75	10	137	52				47	99	249
敦賀美方消防組合	検査施設数		4	49	6	53		63	3	178	53			1	41	95	273
	延回数		4	49	6	53		63	3	178	53			1	41	95	273
若狭消防組合	検査施設数	2	36	27	2	55	2	31	2	155	38				42	80	237
	延回数	2	36	27	2	55	2	31	2	155	38				42	80	237
合 計	検査施設数	44	169	355	33	579	3	597	35	1,771	360			4	381	745	2,560
	延回数	52	177	366	40	643	3	622	41	1,892	409			4	435	848	2,792

注：1 検査施設数の欄は、立入検査を行った施設数を危険物施設の区分ごとに記載。
2 延回数の欄は、立入検査を行った延回数を危険物施設の区分ごとに記載。

第4表の1 容量別屋外タンク貯蔵所数

平成25年3月31日現在

消防(局)本部名 容量別	福	大	勝	永	嶺	鯖	南	敦	若	合
	井	野	山	平	北	江	越	賀	狭	計
	市	市	市	町	消	・	消	美	消	
					防	丹	防	方	防	
					組	生	組	消	組	
					合	消	合	防	合	
						防		組		
						組		合		
						合				
100kl未満	151	21	30	6	116	56	102	68	41	591
100kl～500kl未満	18		1		18	22	10	25	6	100
500kl～1,000kl未満	5				4	1		8		18
1,000kl～5,000kl未満					21			8		29
5,000kl～10,000kl未満					2					2
10,000kl～50,000kl未満										0
50,000kl～100,000kl未満					3					3
100,000kl以上	20				10					30
合 計	194	21	31	6	174	79	112	109	47	773

第4表の2 品名別屋外タンク貯蔵所数

平成25年3月31日現在

品名別 容量別	第4類										第4類以外の類(B)	合 計 (A+B)
	原	ナ	ガ	灯	軽	重	第	ア	そ	小		
	油	フ	ソ	油	油	油	4	ル	の	計		
		サ	リ				石	コ	他	(
			ン				油	ール		A		
							類	類)		
100kl未満				80	30	211	21	51	194	587	4	591
100kl～500kl未満				3	16	46	9		26	100		100
500kl～1,000kl未満	3		1		1	10			3	18		18
1,000kl～5,000kl未満			6	3	4	9			7	29		29
5,000kl～10,000kl未満				2						2		2
10,000kl～50,000kl未満										0		0
50,000kl～100,000kl未満						3				3		3
100,000kl以上	30									30		30
合 計	33	0	7	88	51	279	30	51	230	769	4	773

第5表 危険物取扱者試験実施状況

種 別	区 分	平成21年度 合格率 (%)	平成22年度 合 格 率 (%)	平成23年度 合 格 率 (%)	平成24年度		
					受験者数 (人)	合格者数 (人)	合 格 率 (%)
甲	種	28.9	30.5	28.5	317	79	24.9
乙	第 1 類	66.4	64.6	71.3	521	366	70.2
	第 2 類	65.8	72.6	71.1	409	309	75.6
	第 3 類	55.8	71.0	66.4	565	389	68.8
	第 4 類	35.4	34.8	38.6	4,199	1,552	37.0
	第 5 類	63.0	67.5	67.0	515	341	66.2
	第 6 類	74.3	66.8	64.9	586	398	67.9
	小 計	46.7	47.6	49.7	6,795	3,355	49.4
丙	種	56.2	62.8	54.6	840	431	51.3
合	計	47.1	48.5	49.4	7,952	3,865	48.6

第6表 危険物取扱者保安講習実施状況

講習種別	区 分	平成21年度 受講者数 (人)	平成22年度 受講者数 (人)	平成23年度 受講者数 (人)	平成24年度	
					受講者数 (人)	講習実施回 数 (回)
給 油 取 扱 所		481	406	432	423	7
石 油 コ ン ビ ナ ー ト		28	31	40	37	1
そ の 他		1,213	1,201	1,123	1,201	9
合	計	1,722	1,638	1,595	1,661	17

- 注：1 「給油取扱所」は、給油取扱所において危険物の取扱作業に従事している危険物取扱者を対象とした講習種別である。
- 2 「石油コンビナート」は、石油コンビナート等災害防止法上の特定事業所における危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。
- 3 「その他」は、「給油取扱所」および「石油コンビナート」以外の危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。

2. 危険物施設の火災・漏えい事故等

- (1) 過去5年間における危険物の災害事故発生件数は、平成24年が15件と最も多い。
 (2) 過去5年間の危険物施設別の災害事故発生件数は、一般取扱所での事故が15件と最も多い。

第7表 過去5年間の危険物施設における災害事故発生件数

年	危険物施設の別 内訳	製 造 所 (A)	貯 蔵 所						取 扱 所						そ の 他 (D)	合 計 (A+B+C+D)	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所			一 般 取 扱 所
平成20年	火災								0						0		0
	漏えい							1	1	2					2		3
	その他								0	2					2		2
平成21年	火災	1							0						0		1
	漏えい				1		1		2					1	1		3
	その他								0					1	1		1
平成22年	火災	1							0					2	2		3
	漏えい								0	1				2	3		3
	その他								0					0	0		0
平成23年	火災								0					2	2		2
	漏えい							3	3	1				2	3		6
	その他								0					0	0		0
平成24年	火災								0					2	2		2
	漏えい			2		1		3	6	1				3	4		10
	その他								0	3				3	3		3
火災計		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	8
漏えい計		0	0	2	0	2	0	8	12	5	0	0	0	8	13	0	25
その他計		0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	1	6	0	6
総計		2	0	2	0	2	0	8	12	10	0	0	0	15	25	0	39

注：1 危険物施設の別の「その他」には、危険物運搬中の事故または無許可の危険物施設など、許可を受けている危険物施設以外での事故件数を記載。

第6章 消防の概要

1 消防の組織（消防機関と人員）

昭和23年消防組織法施行後、市町村消防の原則が確立され、昭和48年7月1日大野地区消防組合が発足したことにより、県下全域にわたり消防の常備化が実現した。消防吏員は平成25年4月1日現在で1,189名である。

また、消防団員数は平成25年4月1日現在で5,661名であるが、近年の社会経済情勢の変化の影響を受けて、団員数の減少、サラリーマン団員の増加等の課題に直面しており、消防団の充実強化を一層推進することが必要である。

2 消防施設

(1) 消防機械

消防機械の保有状況は第8表および第9表のとおりであるが、特に近年の救急需要の増加に伴い、各消防本部とも高規格救急自動車の導入を推進している。これにより、高度な救急処置を実施することができ、救命率の向上を図っている。

(2) 消防水利

消防水利は、消防機械とともに、火災鎮火のために重要不可欠なものである。

これについては、消防に必要な水利の確保と管理のため「消防水利の基準」が定められ、その基準に適合したものを消防水利としている。消防水利には、消火栓、防火水槽、プール等の人工水利と河川等の自然水利があり、その保有状況は第11表のとおりである。

3 民間防火組織

(1) 幼年消防クラブ

幼年消防クラブは、幼年期における防火教育の重要性、防火活動を通じての正しい社会的態度の養成の必要性などの観点からはじめられたもので、幼稚園、保育園の指導者を中心に消防機関の協力を得て幼年消防活動を行うことにより、父母兄弟や近隣住民に対する防火思想の普及も効果的に図られている。

(2) 少年消防クラブ

少年消防クラブは、少年のころから火災予防に関する知識を身に付け、学校や各家庭における火災防止を図るとともに、火に関する諸原理を実際に即して勉強し、学校教育としての社会科、理科および家庭科の学習の補助を目的とするものであって、昭和25年に少年消防クラブ取扱要綱が制定され、続いて昭和28年に「全国少年消防クラブ運営指導協議会」（会長：消防庁長官）が設けられ、今日に至っている。

(3) 婦人防火クラブ

婦人防火クラブは、家庭において火を使用する機会の多い婦人を対象に、火災予防の知識を養うことが必要であることから、任意に結成されたものであり、消防職団員の指導のもとに各家庭の防火診断、火災の初期活動等、婦人による防火活動は重要な役割を果たしている。

4 表 彰

消防職員または消防団員の士気高揚を図るとともに、地域住民の消防に対する正しい認識と円滑な協力援助関係を確立するため、消防に関して功労のあった消防団員、消防機関その他の団体または個人に対し、各種表彰を行っている。

また、昭和58年より新たに県知事の定例表彰の中で、30年以上勤続の消防団員の配偶者等も表彰することにした。

第1表 消防職団員数の推移(各年4月1日現在)

区分	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46
消防職員数	150	163	203	201	231	227	262	257	268	293	328	351	354	372	381	421	461	521	594
消防団員数	11,835	10,701	8,487	8,275	8,091	7,342	7,174	7,147	7,118	6,744	6,759	6,731	6,751	6,754	6,491	6,388	6,303	6,191	6,019

47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成元	2	3	4
693	743	785	785	832	851	872	895	922	937	950	974	974	982	982	983	999	1,009	1,010	1,032	1,052
5,814	5,703	5,647	5,635	5,633	5,623	5,629	5,616	5,549	5,623	5,616	5,608	5,588	5,549	5,545	5,485	5,471	5,453	5,437	5,488	5,492

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
1,090	1,101	1,119	1,141	1,162	1,169	1,183	1,186	1,190	1,188	1,190	1,193	1,192	1,190	1,189	1,184	1,183	1,180	1,192	1,196	1,189
5,497	5,519	5,502	5,533	5,523	5,518	5,497	5,499	5,483	5,460	5,436	5,439	5,442	5,406	5,411	5,411	5,480	5,560	5,656	5,688	5,661

第2表 消防機関の現況

区 分		平成24年4月(B)	平成25年4月(B)	増減(B-A)
消防本部・署	消防本部数	9	9	0
	消防署数	20	20	0
	出張所数	30	30	0
	消防職員数	1,196	1,189	△7
消防団	消防団数	18	18	0
	分団数	235	236	1
	消防団員数	5,688	5,661	△27

第3表 消防の概況

平成25年4月1日現在

区分 消防(局)本部名	消防本部・署所				消防団				消防水利			基地 局および 固定局	移動 局					
	設置別	消防署数	出張所数	消防吏員数	自普通消防ポンプ数	自水槽付消防ポンプ数	消防団数	分団数	消防団常備部数	団員数(実員)	自普通消防ポンプ数			小型動力ポンプ積載車 付小型動力ポンプ積載車 の積載に 向けて積載 しているもの	消火栓(公設)	防火水槽		
																消防本部のみ設置	消防本部を併設	計
福井市	○	4	16	349	22	3	1	53		973	8	25	42	9,419	815	31	9	136
大野市		1	1	55	4		1	9		393	10	22	2	394	264	27	3	37
勝山市		1		37	2	1	1	12		291	3	10	27	247	196	14	2	42
永平寺町		1	1	36	1	2	1	11		286	9	14		171	243	11	3	26
嶺北消防組合		5	1	192	6	4	2	36		742	36	11		1,390	1,190	129	5	90
鯖江・丹生消防組合		1	4	111	5	1	2	38		579	30	9	3	1,177	850	48	3	53
南越消防組合		3	2	139	6	4	3	30		758	17	24		2,465	678	41	14	88
敦賀美方消防組合		3	1	147	3	4	3	18		746	23	27		1,228	208	170	3	85
若狭消防組合		1	4	123	7	3	4	29		893	9	37	57	1,045	488	56	5	78
計	1	8	30	1,189	56	22	18	236	0	5,661	145	179	131	17,536	4,932	527	47	635

第4表 階級別消防職員数

平成25年4月1日現在

区分	消防職員													条例定数			
	消防吏員(美員)										その他の職員						
	消防司監	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	小計(B)	事務職員	技術職員	単純労務職員		小計(C)		
消防(局)本部名	計(A) = (B) + (C)	うち女性															
福井市	363	6	1	4	20	80	86	74	28	56	349	14	()	()	14	356	
大野市	55	1	()	1	5	9	13	10	5	12	55	()	()	()	()	0	55
勝山市	37	1	()	1	5	4	10	6	3	8	37	()	()	()	()	0	38
永平寺町	36	0	()	1	5	6	11	7	()	6	36	()	()	()	()	0	45
嶺北消防組合	196	4	1	1	9	37	37	41	21	45	192	4	()	()	4	206	
鯖江・丹生消防組合	113	5	()	1	7	17	30	22	17	17	111	2	()	()	2	113	
南越消防組合	141	4	()	1	11	26	43	26	13	19	139	2	()	()	2	145	
敦賀美方消防組合	151	3	()	2	16	23	23	25	15	43	147	4	()	()	4	156	
若狭消防組合	124	2	()	1	8	22	29	24	7	32	123	1	()	()	1	130	
計	1,216	26	0	13	86	224	282	235	109	238	1,189	27	0	0	27	1,244	

注: 下段の()は、女性職員の内数

第5表 階級別非常勤消防団員数

平成25年4月1日現在

階級別 消防(局)本部	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	条例定数
福井市	973 (9)	5 ()	4 ()	52 ()	51 ()	96 ()	90 ()	675 (9)	1,011
大野市	393 (15)	1 ()	2 ()	9 ()	10 ()	35 (1)	70 (2)	266 (12)	400
勝山市	291 (24)	1 ()	2 ()	12 ()	12 ()	25 (1)	34 (2)	205 (21)	299
永平寺町	286 (36)	1 ()	2 ()	16 (1)	10 ()		33 (2)	224 (33)	315
嶺北消防組合	742 (26)	2 ()	8 ()	36 ()	52 ()	2 (2)	66 (3)	576 (21)	773
鯖江・丹生消防組合	579 (17)	2 ()	5 ()	37 ()	33 ()		83 (1)	419 (16)	627
南越消防組合	758 (7)	3 ()	8 ()	30 ()	30 ()		78 ()	609 (7)	841
敦賀美方消防組合	746 (26)	3 ()	4 ()	18 ()	18 ()	51 ()	85 ()	567 (26)	746
若狭消防組合	893 (7)	4 ()	6 ()	29 ()	21 ()	58 ()	100 (1)	675 (6)	894
計	5,661 (167)	22 (0)	41 (0)	239 (1)	237 (0)	267 (4)	639 (11)	4,216 (151)	5,906

注: 下段の()は、女性団員の内数

第6表 年齢別消防吏員・消防団員数

平成25年4月1日現在

年齢別 消防(局)本部名	消 防 吏 員										消 防 団 員													
	(A)のうち										平均年齢 (B) (A)	年齢合計 (B)	(C)のうち										平均年齢 (D) (C)	年齢合計 (D)
	18歳 ～ 19歳	20歳 ～ 24歳	25歳 ～ 29歳	30歳 ～ 34歳	35歳 ～ 39歳	40歳 ～ 44歳	45歳 ～ 49歳	50歳 ～ 54歳	55歳 以上	吏員数 (A)			18歳 ～ 19歳	20歳 ～ 24歳	25歳 ～ 29歳	30歳 ～ 34歳	35歳 ～ 39歳	40歳 ～ 44歳	45歳 ～ 49歳	50歳 ～ 54歳	55歳 ～ 59歳	60歳 ～ 64歳		
福井市	5	28	40	23	54	45	43	47	64	14,525	41.6	973	14	26	79	146	172	148	158	114	99	17	973	46.4
大野市		5	7	7	8	7	7	6	8	2,222	40.4	393	1	8	26	64	57	63	69	62	21	2	393	45.5
勝山市		2	6	3	9	7	3	4	3	1,457	39.4	291	5	17	28	59	39	37	60	36	10		12,858	44.2
永平寺町		3	3	4	10	5	1	5	5	1,459	40.5	286	1	9	24	63	58	41	22	22	7		11,393	39.8
嶺北消防組合	3	30	22	20	35	34	15	12	21	7,214	37.6	742	6	31	82	140	156	131	109	51	29	7	32,217	43.4
鯖江・丹生消防組合	3	7	21	17	21	13	7	11	11	4,179	37.6	579	14	58	107	149	145	50	37	10	6	3	22,409	38.7
南越消防組合	3	15	12	7	34	19	10	21	18	5,579	40.1	758	2	25	73	131	139	142	114	73	44	7	33,954	44.8
敦賀美方消防組合	9	17	26	25	29	9	5	8	19	5,241	35.7	746	3	82	196	167	88	55	54	35	33	8	28,974	38.8
若狭消防組合	6	19	19	13	15	11	10	16	14	4,595	37.4	893	28	107	202	268	171	75	36	6			32,869	36.8
計	1,189	29	126	156	119	215	150	101	130	46,471	39.1	5,661	7	147	375	817	1,187	742	659	409	249	44	237,673	42.0

注:18歳～19歳の欄は18歳未満含む。

第7表 在職年数別消防吏員および消防団員数

平成25年4月1日現在

年数別 消防(局)本部名	消 防 吏 員							消 防 団 員																			
	消							勤																			
	合 計	5年未滿	5年以 上	10年未滿	10年以 上	15年未滿	15年以 上	20年未滿	20年以 上	25年未滿	25年以 上	30年未滿	30年以 上	合 計	5年未滿	5年以 上	10年未滿	10年以 上	15年未滿	15年以 上	20年未滿	20年以 上	25年未滿	25年以 上	30年未滿	30年以 上	
福井市	349	56	20	36	34	48	37	118	973	295	162	141	126	108	67	74											
大野市	55	9	5	4	9	6	5	17	393	90	91	52	53	45	27	35											
勝山市	37	4	5	4	9	6	3	6	291	67	56	54	40	45	21	8											
永平寺町	36	4	2	6	5	8	2	9	286	134	49	42	39	15	5	2											
嶺北消防組合	192	44	21	18	31	26	19	33	742	199	156	123	121	75	43	25											
鯖江・丹生消防組合	111	21	15	8	25	12	5	25	579	189	139	130	72	34	12	3											
南越消防組合	139	23	12	12	26	19	9	38	758	168	146	134	116	109	54	31											
敦賀美方消防組合	147	39	22	15	28	11	6	26	746	287	217	102	54	38	39	9											
若狭消防組合	123	32	12	11	13	13	7	35	893	320	269	153	85	41	20	5											
計	1,189	232	114	114	180	149	93	307	5,661	1,749	1,285	931	706	510	288	192											

第8表 消防ポンプ自動車等現有数(消防本部・署)

平成25年4月1日現在

区分	消防本部・署 現有																									
	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	はしご付消防ポンプ自動車 (ポンプ付でないものを含む)	18m級	24m級	30m級	38m級	消防ポンプ自動車	大型高所放水車	泡原液搬送車	化学消防ポンプ自動車	指揮車	照明車	積載車 積載ポンプ付	小型動力ポンプ	広報車	資機材搬送車	屈折放水塔車	水槽車	支援車	人員搬送車	防災指導車	救急自動車	救助工作車	その他車両	
消防(局)本部名																										
福井市消防局	22	3	1	1	1	1	1	1	1	1	3	5		7	6	4	1	1	1				10 (9)	2	5	
大野市消防本部	4		1		1						1	1		7	3	2							4 (4)	1		
勝山市消防本部	2	1	1		1										1	1							3 (2)	1	1	
永平寺町消防本部	1	2										2			1	1							3 (3)	1	2	
嶺北消防組合	6	4				2			1	1	5	4		6	1	5				1	1	1	9 (8)	4	6	
鯖江・丹生消防組合	5	1				1					2	2			6	1	1						6 (6)	1		
南越消防組合	6	4	1		1						2	3			8	5	1			1	1		8 (7)	3		
敦賀美方消防組合	3	4	1			1					3	1		3	1	5	1			1	1		6 (6)	2	7	
若狭消防組合	7	3			1						1	1		6	2	2							6 (5)	1	4	
計	56	22	3	2	4	3	1	1	1	2	17	19	0	0	29	26	1	3	4	0	0	1	55 (50)	16	25	

注:救急自動車の()書きは高規格救急自動車以内数。

第9表 消防ポンプ自動車等現有数（消防団）

平成25年4月1日現在

種別 消防(局)本部名	消防団現有			
	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ	
			小型動力ポンプ付積載車	車両に積載していないもの
福井市	8		25	42
大野市	10		22	2
勝山市	3		10	27
永平寺町	9		14	
嶺北消防組合	36		11	
鯖江・丹生消防組合	30		9	3
南越消防組合	17		24	
敦賀美方消防組合	23		27	
若狭消防組合	9		37	57
計	145	0	179	131

第10表 化学消火薬剤備蓄状況

平成25年4月1日現在

種別	計		化学消火薬剤種別																	
	(A)	(B)	たん白系	合成界面 活性剤	水成膜泡 消火薬剤	水溶性液体用泡 消火薬剤 (耐7アルコール用)	第1種 粉末	第2種 粉末	第3種 粉末	第4種 粉末										
	(kg) (7)~(ナ)	(kg) (カ)~(ケ)									3%型	6%型	(kl) (イ)	(kl) (ウ)	(kl) (エ)	(kl) (オ)	(kg) (キ)	(kg) (ク)		
消防(局)本部名																				
福井市	14.53	0.00	9.71	1.40	2.20	0.34														
大野市	1.40	0.00		1.40																
勝山市	0.75	0.00		0.75																
永平寺町	0.50	0.00		0.50																
嶺北消防組合	22.60	0.00	4.90	11.60	2.50	3.60														
鯖江・丹生消防組合	2.05	0.00		1.41	0.64															
南越消防組合	3.76	0.00		0.68	3.08															
敦賀美方消防組合	4.43	0.00	0.87	2.20	1.08	0.28														
若狭消防組合	1.22	0.00		1.22																
計	51.24	0.00	15.48	21.16	9.50	4.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

第11表 消防水利の状況

平成25年4月1日現在

種別	計	消火栓		小計(C)(D)+(E)				公設(D)				私設(E)				その他												
		(A)	(B)	防火水槽				防火水槽				防火水槽				小計	河川	海	プ	壕	下	そ						
				100	60	40	20	100	60	40	20	100	60	40	20								井戸	井戸	井戸	井戸		
消防(局)本部名	(A) + (B) (C)	小計	公設	私設	100	60	40	20	100	60	40	20	100	60	40	20	井戸	井戸	井戸	井戸	小計	河川	海	プ	壕	下	そ	
福島市	10,265	9,419	9,419		31	8	776	31	31	8	776	31	31	8	776	31					338	128						127
大野市	713	394	394		2	3	259	27	28		198	17	28	2	3	61	10				15							
勝山市	457	247	247		3	1	192	14		3	1	192	14								0							
永平寺町	425	171	171		1	20	222	11		1	20	222	11								11							
嶺北消防組合	2,709	1,390	1,390		13	49	1,128	129		9	45	928	85	4	4	200	44				64	12	6	46				
鯖江・丹生消防組合	2,075	1,177	1,177		15	10	825	48		9	9	809	48	6	1	16				27			26				1	
南越消防組合	3,282	2,563	2,465	98	6	17	655	41		6	17	642	40			13	1			108	61	1	27	18			1	
敦賀美方消防組合	1,662	1,228	1,228		5	9	194	170	56	5	4	177	162	56		5	17	8		0								
若狭消防組合	1,589	1,045	1,045		1	5	482	56		1	2	475	54		3	7	2			40			34				6	
計	23,177	17,634	17,536	98	77	122	4,733	527	84	65	106	4,419	462	84	12	16	314	65	0	603	201	7	242	18	0	135		

第12表 消防機関の出動状況

平成24年中

区分	種別	県計		火災	風水害等の災害	演習訓練	広報指導	警防調査	火災原因調査	特別警戒	捜索	予防査察	誤報等	その他
		(ア)~(イ)	(ロ)~(チ)											
消防本部・署所	出動回数	21,262	240	86	2,740	2,871	4,523	247	722	7	8,375	58	1,393	
	出動延人数	80,923	3,265	377	11,458	24,014	11,015	1,362	2,552	72	21,134	552	5,122	
消防団	出動回数	2,858	90	28	1,188	184	20	0	410	3	0	12	923	
	出動延人数	36,936	2,420	604	21,549	2,201	297	0	4,781	36	0	150	4,898	

第13表 消防吏員・団員の公務による死傷者数

平成24年中

区分	種別	県計		火災	救急業務	風水害等の災害	演習訓練	特別警戒	捜索	その他
		(ア)~(イ)	(ロ)~(チ)							
消防吏員	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	負傷者	7	0	1	0	5	0	0	0	1
消防団	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	負傷者	1	0	0	0	0	0	0	0	1

第14表 火災通報施設等の現況

平成25年4月1日現在

区分	火災報知機			テレビ 監視装置 (基)	望 楼		電 話				救急指令装置			
	受信機 (基)	発信機			小計 (ウ)+(エ) (基)	24時間 監視体 制をとつ ている (ウ) (基)	その他 (エ) (基)	小計 (ウ)+(ウ)+(ウ)+(ウ) (回線)	消防機関にあるもの		加入電話 (キ) (回線)	救 急 指 令 専 用	消 防 指 令 装 置 と 併 用	
		公衆用 (ア) (基)	自衛用 (イ) (基)						火災報知 専用電話 (オ) (回線)	消防電話 1ヶ月あた りの経費 (カ) (回線)				消防電話 1ヶ月あた りの経費 (カ) (回線)
消防(局)本部名														
福井市	0			0			153	14	99		40		1	
大野市	0		1	0			38	13	2	4	23			
勝山市	0			0			17	10			7			
永平寺町	0			0			21	12	1	15	8			
嶺北消防組合	0			0			31	14			17			
鯖江・丹生消防組合	0			0			55	13	5		37		1	
南越消防組合	0			0			47	16	2	6	29			
敦賀美方消防組合	0			0			54	11	4	189	39			
若狭消防組合	0		1	0			23	12	2		9			
計	0	0	0	2	0	0	439	115	115	214	209	0	2	

第15表 無線通信施設の現況

平成25年4月1日現在

種別 消防(局)本部名	消防・救急業務用無線												
	固定局			基地局および携帯基地局						航空局	移動局		
	局数		一局 その電 波の 数	局数		電波の数				局 数	陸 上 移 動 局 数	携 帯 局 数	そ の 他
	多 重	そ の 他		基 地 局	携 帯 基 地 局	全 国 共 通 波	県 内 共 通 波	その他					
						単 信 波	複 信 波						
福井市	2			7		3	1	3	1		136		
大野市				3		1	1	1			37		
勝山市		1	1	1			1	2			42		
永平寺町				3		1	1				26		
嶺北消防組合				5		3	1	3			49	41	
鯖江・丹生消防組合				3		3	1	2	1		31	22	
南越消防組合		7	1	7		3	1	2			43	45	8
敦賀美方消防組合				3		3	1	1			45	40	
若狭消防組合				5		3	1	2			33	45	
計	2	8	2	37	0	20	9	16	2	0	442	193	8

第16表 幼年消防クラブの現況

平成25年4月1日現在

種別	組織別クラブ数					組織別クラブ員数					指導者数					
	計	幼稚園 保育園 単 位	学 校 単 位	市町村 単 位	地 区 単 位	その他	計	幼稚園 保育園 単 位	学 校 単 位	市町村 単 位	地 区 単 位	その他	計	幼稚園 保育園 単 位	学 校 単 位	その他
消防(局)本部名																
福井市	2	2					47	47					2	2		
大野市	18	18					1,081	1,081					18	18		
勝山市	13	13					547	547					161	161		
永平寺町	10	10					699	699					64	64		
嶺北消防組合	56	56					4,505	4,505					58	58		
鯖江・丹生消防組合	42	42					1,720	1,720					106	106		
南越消防組合	44	44					941	941					44	44		
敦賀美方消防組合	35	35					2,990	2,990					35	35		
若狭消防組合	1	1					25	25					16	16		
計	221	221	0	0	0	0	12,555	12,555	0	0	0	0	504	504	0	0

第17表 少年消防クラブの現況

平成25年4月1日現在

種別 消防(局)本部名	組織別クラブ数				組織別クラブ員数				指導者数				
	計	学校単位		市町村単位	地区単位	その他	計	学校単位		計	小学校	中学校	その他
		小学校	中学校					小学校	中学校				
福井市	50	50					2,309	2,309		58	58		
大野市	15	10	5				511	405	106	14	10	4	
勝山市	17	3		4	10		1,185	407		93	6		44
永平寺町	13				13		250						30
嶺北消防組合	29	29					828	828			33		
鯖江・丹生消防組合	20	20					2,916	2,916			120		
南越消防組合	21	21					907	907			21		
敦賀美方消防組合	14	14					372	372			14		
若狭消防組合	0						0				0		
計	179	147	5	4	23		9,278	8,144	106	0	93	4	74

第18表 婦人防火クラブの現況および活動状況

平成25年4月1日現在

種別	合計		周囲の状況						活動状況別組織数		
	組織数 (ア)+(イ)+(ウ)+(エ)	人員 (カ)+(キ)+(ク)+(ケ)	市街地		農山村地域		漁村地域		消火活動を行う (a)	消火活動は行わないが、炊き出し、連絡、救護等を行う (b)	(a)(b)は行わず、予防の啓蒙活動を行っている (c)
			組織数 (ア)	人員 (カ)	組織数 (イ)	人員 (キ)	組織数 (ウ)	人員 (ク)			
消防(局)本部名											
福井市	19	1,797	6	706	11	631	2	460	9		10
大野市	12	270			12	270			9	1	2
勝山市	11	310	3	150	8	160			11		
永平寺町	1	17	1	17							1
嶺北消防組合	2	675	2	675							2
鯖江・丹生消防組合	23	2,657	8	1,114	12	637	3	906	12		11
南越消防組合	23	253	13	130	10	123			23		
敦賀美方消防組合	77	3,235	16	1,991	50	1,093	11	151	69	8	
若狭消防組合	18	268			10	203	8	65	18		
計	186	9,482	49	4,783	113	3,117	24	1,582	151	9	26

第19表 消防表彰受賞状況

種 類		年 度													
		12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
叙 勲		10	10	10	15	22	19	19	21	23	24	23	22	21	
藍 綬 褒 章									4		1				
消 防 庁	功 勞 章	2	2	2	1	2	2	1	2	2	1	2	1	2	
	永年勤続功勞章	18	19	19	16	19	21	21	20	20	20	21	21	21	
	表 彰 旗	1	1												
	竿 頭 綬	1													
長 官	消防団 地域活動		1	1			1	1			1	1	1	1	
	事 業 所				1				1		1	1	1		
表 彰	少年 表 彰 旗	1			1			1				1			
	消防 表 彰 楯	1		1	1		2		1	2	1		1	1	
	クラブ 指 導 者														
福 井 県	功 勞 章	39	38	38	39	37	38	40	40	40	40	40	40	40	
	永年勤続精績章	114	144	114	112	119	137	129	117	154	141	142	155	152	
	銀 杯	30 年 以 上													
退職10~15年未満		77	74	85	64	63	66	59	58	66	75	66	70	67	
知 事 表 彰	感謝状	退 職 幹 部	9	25	22	19	10	30	14	23	23	24	24	22	22
		人 命 救 助 そ の 他													
		夫 人 表 彰	23	27	31	30	19	20	27	29	26	22	36	33	28
彰	竿 頭 綬					7									
	特 別 功 勞 章														

第7章 消防教育訓練

1 消防学校の概要

(1) 沿革

昭和34年7月16日 福井市水越町に福井県消防学校設置。
 昭和47年11月1日 福井市合谷町へ移転。
 平成8年4月1日 福井市大畑町へ再移転、現在に至る。

(2) 施設概要

ア 所在地等 (ア) 所在地 福井市大畑町97-21-3
 (イ) 敷地面積 40,759.02m²

イ 建物工作物等

建物構造および規模

・ 敷地面積 40,759.02m² ・ 建物延面積 8,001.62m²

名称	規模・構造	延べ面積 (m ²)	内 容
教育管理棟 宿泊施設(3階)	RC造3階	3,249m ²	1階 校長室 講師控室 職員室 会議室 防災倉庫 2階 普通教室(60人)(40人) 談話室 図書室 視聴覚室 理化学室(各種実習室併設) 等 3階 寮室(20室) トレーニングルーム 娯楽室
体育館	鉄骨造2階建	2,106.25m ²	1階 食堂 学生ホール 和室 倉庫 2階 アリーナ
雨天訓練場	鉄骨平屋建	1,091.22m ²	訓練場(救助、ポンプ操法訓練施設) 訓練資器材庫 訓練車両庫
訓練塔(主)	SRC造 地下1階建 地上8階建	594.84m ²	立坑訓練室 耐煙迷路室 消火設備実験室 垂直救助訓練 水平ロープ渡過 ブリッジ救出訓練施設 放水訓練室 水平救助・担架吊り下げ救出訓練施設 梯子車注水訓練室 積載梯子上救出訓練施設 梯子車進入訓練室 高所活動・人命検索訓練施設 救助袋等避難器具取扱訓練室 地下火災実験室
訓練塔(補助)	鉄骨造 地上7m	A塔 70.44m ² B塔 32.86m ²	人命救助訓練施設 引上救助訓練施設 中高層建物防御訓練施設 斜め救助訓練施設 障害突破 垂直降下訓練施設
水難訓練用プール (兼、潜水訓練)	FRP製	25m×5コース 水深1.5m～3.0m 容量630m ³ 採水口4箇所(ポンプ車用)	機械室・便所(34.43m ²)
その他施設			油火災消火訓練施設(耐火レンガ造) 直径3m×高さ0.5m 防火訓練壁 幅14m×高さ4m 受水槽20m ² 煙道訓練施設 間口1.0m×1.0m
屋外訓練場		7,800m ² (120m×65m)	1周200mグラウンド

2 教育訓練

消防職団員の各種教育訓練を第1表および第2表のように実施し、人的消防力の充実向上を図るとともに、より高度の専門的知識を修得させた。

また、第3表のとおり消防大学校へ職員が派遣された。

第1表 平成24年度消防本部(局)別受講者数

区分	教育訓練の種類	項目	実施年月日	教育 実日数	延時間	消防本部(局)名						合計			
						福井	敦賀美方	南越	若狹	大野	勝山		鯖江丹生	嶺北	永平寺
消防職員	初任教育(第47期)	初級幹部科	24.4.4~9.26	120	835	13	9	4	6	1	2	5	8	2	50
		中級幹部科(第28期)	隔年実施のため今年度中止												
	幹部教育	中級幹部科(第7期)	24.12.13~12.21	7	49	4	1	1	2	1	1	2	3	1	16
		上級幹部科(第34期)	24.6.27~6.29	3	21	4	1	1	2	1	1	2	3	1	16
	専科教育	警防科	24.11.14~11.28	10	70	4	2	2	2		1	2	3	1	17
		特殊災害科	隔年実施のため今年度中止												
	予防査察科	予防査察科(第9期)	25.2.5~2.19	10	70	4	1	3	2	1	1	2	3	1	18
		危険物科(第31期)	25.1.9~1.18	7	49	4	1	3	2	1	1	2	3	1	18
	火災調査科	火災調査科	隔年実施のため今年度中止												
		救助科(第36期)	24.10.10~11.9	23	161	4	1	3	2	2	1	2	5	1	21
救急科	救急科(第20期)	25.1.28~3.19	36	252	8	5	3	4	1	1	4	5	2	33	
	水難救助科(第17期)	24.7.11~7.27	12	84	5	2	2			1	1	3	1	17	
特別教育	特別講座等	(下記公開講座に記載)													
	操法指導員教育	24.4.19~4.20	2	14	5	4	4	4	4	2	4	4	2	33	
起震車操作員教育	起震車操作員教育	24.6.20	1	5	4	3	3	2	1	1	4	3	1	22	
	小計		231	1,610	59	30	29	30	13	13	30	43	14	261	
消防団員	初級幹部科(第1回)	24.5.20	1	7	3	3	9	3	2	6	4	5	7	42	
	初級幹部科(第2回)	24.10.28	1	7		3	8	3	2	6	4	3		29	
	中級幹部科(第1回)	24.6.10	1	7	4		11		1		5	4	5	30	
	中級幹部科(第2回)	24.11.25	1	7		33								33	
	中級幹部科(第3回)	25.1.27	1	7	1				1	1	5	5		13	
	消防団員指導員教育(日消)	24.11.10~11.11	2	12	1	3	4	4	1	1	1	1	2	1	18
一般・その他	小計		7	47	9	42	32	10	7	14	19	19	13	165	
	自衛消防隊幹部教育(第1回)	24.12.4	1	7	4	24	9	4	9	2		7		59	
	女性防火クラブ員教育(第1回)	25.3.10	1	6	13		1		4	2		6	1	27	
	自主防災組織職員教育(第1回)	24.10.14	1	3	25		15		11	2		9	12	74	
	自主防災組織職員教育(嶺南)(第2回)	24.12.9	1	3				23						23	
	自主防災組織職員教育(第3回)	25.2.17	1	3	32		13			2		8	20	75	
小計		5	22	74	24	38	27	24	8	8	30	33	258		
合計		243	1,679	142	96	99	67	44	35	49	92	60	684		
公開講座	救助科	24.11.1	1	4	13	6	6	5	3	2	4	10	4	53	
	中級幹部科	24.12.19	1	4	13	6	6	8	3	2	6	8	3	55	
	危険物科	25.1.17	1	4	13	6	7	8	2	4	4	7	3	54	
	救急科	25.2.25	1	4	8	4	10	6	1	3	15	5	3	55	
公開講座合計		4	16	47	22	29	27	9	11	29	30	13	217		
総計		247	1,695	189	118	128	94	53	46	78	122	73	901		

第2表 平成24年度消防学校教育訓練実施状況

区分	項目	教育人員	教育実日数	教育時間数	担当講師別時間数				
					学校	県	消防	専門	
消防職員	初任教育(第47期)	50	120	835	532	46	202	55	
	幹部教育	初級幹部科	0	0	0				
		中級幹部科(第28期)	16	7	49	5	4	25	15
		上級幹部科(第7期)	16	3	21	2	2	10	7
	専科教育	警防科(第34期)	17	10	70	30	8	21	11
		特殊災害科	0	0	0				
		予防査察科(第9期)	18	10	70	13	4	53	0
		危険物科(第31期)	18	7	49	16	8	25	0
		火災調査科	0	0	0				
		救助科(第36期)	21	23	161	26	8	111	16
		救急科(第20期)	33	36	252	7	7	61	177
	特別教育	救急救命士研修(中止)	0	0	0				
		水難救助科(第17期)	17	12	84	8	76		
		操法指導員教育	33	2	14			14	
	起震車操作員教育	22	1	5	5				
小計		261	231	1,610	644	163	522	281	
消防団員	初級幹部科	71	2	14	14				
	中級幹部科	76	3	21	6	6		9	
	消防団指導員教育(日消)	18	2	12	10	2		2	
	小計	165	7	47	30	8	0	11	
一般その他	自衛消防隊幹部教育	59	1	7	4			3	
	少年消防クラブ員教育(中止)	0	0	0					
	女性防火クラブ員教育	27	1	6	3			3	
	自主防災組織員教育	172	3	9	5	1		3	
	小計	258	5	22	12	1	0	9	
合計		684	243	1,679	686	172	522	301	
公開講座	中級幹部科	55	1	4				4	
	救助科	53	1	4				4	
	危険物科	54	1	4				4	
	救急科	55	1	4				4	
	公開講座合計	217	4	16	0	0	0	16	
総合計		901	247	1,695	686	172	522	317	

第3表 平成24年度消防大学校派遣者数

学 科	派遣者数	備 考
幹部科(第32期)	4	嶺北、鯖江・丹生、南越、敦賀美方
上級幹部科(第76期)	1	勝山市
新任消防長・学校長科(第13期)	1	消防学校
警防科(第92期)	1	福井市
救助科(第65期)	1	福井市
危険物科(第7期)	1	嶺北
火災調査科(第23期)(第24期)	2	嶺北、消防学校
新任教官科(第6期)	1	敦賀美方
航空隊長コース(第9回)	1	防災航空事務所
危機管理・国民保護コース(第2回)	3	福井市、嶺北、若狭
トップマネジメントコース(第14回)	1	越前市
自主防災組織育成コース(第8回)	1	若狭
合計	18	